

第 8 期介護保険事業計画（案）に対する意見募集

No.	意見内容	回答及び考え方	備考
1	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスへの対応が言及されていません。介護事業所で新型コロナウイルス感染が発生した場合、自治体の対応、体制強化を含む配慮が欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第 4 章基本目標 3（5）に新型コロナウイルスを含め、感染症・災害対策については、関係市町が防災計画等を策定しているため、市町との連携強化と、備蓄品把握や事業継続を支援していく内容を記載しています。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・施設サービスに比し、在宅介護サービスが少ないように感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「住み慣れた地域で暮らし続けるために」という基本理念を掲げた中で、在宅生活を支えることは非常に重要だと考えます。しかし、それは単に介護保険サービスによるだけではなく、互いに支えあう地域づくりを進めることにより実現したいと考えています。第 8 期計画においても、様々な在宅生活支援の中で、在宅サービスの必要量を計画しています。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・老老介護が増加していて、在宅介護に重点を置くべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第 4 章基本目標 2（4）に記載がありますが、住み慣れた地域で暮らし続けるための基盤づくりが重要と考えます。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校区に 1 か所整備予定の地域密着型小規模多機能型居宅介護の整備計画の完了の目途はいつ頃でしょうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能型居宅介護の整備に当たり、各中学校区に 1 か所という量的目標は設定していません。しかし、施設整備計画において、各地域にバランスよく施設を整備することは意識しています。また、生活支援コーディネーターを中心として、地域ごとの見守り体制の構築に向けて必要な資源を検討・開発しているところです。 	

	<p>・看護小規模多機能型居宅介護への補助金等の増加策はあるのでしょうか。</p>	<p>・補助金を交付するなど、特に看護小規模多機能型居宅介護を整備する目的の制度はありません。今後、制度を設ける予定もありません。</p>	
	<p>・介護職員の人員不足への対応を拡大強化するの必要を感じます。独自の工夫などございますか。</p>	<p>・第4章基本目標3(2)に介護職員の人員不足への対応について、介護分野で働き続けられるための支援や、人材育成の支援を行う内容を記載しています。具体的には、介護離職を防ぐための研修や人材育成に資する研修を実施します。またICTを活用して介護職員の負担軽減を図ります。</p>	
	<p>・看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・夜間対応型訪問介護の事業者の見込みはありますか。何か対応策は実施されていますか。</p>	<p>・看護小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護の事業者の見込み及び対応策は現在のところはありません。</p>	
	<p>・目次記載の資料編は見ることができません。</p>	<p>・意見募集の段階では資料編を添付しておりません。</p>	
	<p>・「住民参加」「住民への周知」は、今少し工夫、改善が望まれます。</p>	<p>・住民参加については、事業計画推進委員会の委員構成に配慮し、実際に多くの貴重なご意見をいただいています。また、第3章のとおり在宅介護実態調査の結果を活用し、介護に関わる人の声を反映するよう努めています。ご意見を踏まえ、住民への周知を含めて、今後も工夫改善に努めます。</p>	
2	<p>・最近栄養の不足する人が多くいるので、栄養の重要性が分かる人を参加してもらった方が良い。</p> <p>・介護予防には栄養も大変重要と思います。栄養について</p>	<p>・介護予防は、主に市町への委託により、地域特性を生かした事業として行われています。その取組みは様々であるため、具体的な事業内容を計画に記載することはできていませんが、市町の実情にあ</p>	

<p>も記載すべきでは。</p>	<p>わせて、低栄養のスクリーニングや、栄養改善・口腔機能向上のプログラムを提供しており、効果的な取組みについて関係機関と情報を共有しているところです。</p>	
<p>・評価指標について記載されていませんが、効果を確認するためにも記載すべきと考えます。</p>	<p>・評価指標の設定が難しい項目もあり、今後の課題として認識しております。</p>	
<p>・介護離職ゼロについて、状況は把握することが難しいかもしれませんが、何か考えられていますか。</p>	<p>・介護離職の状況を把握するのは難しいですが、対策として、家族の負担を減らすための情報提供や交流会等の場を設けています。福祉側からのアプローチも行っていますが、職場との連携により職場側からのアプローチが有効と考えます。介護離職防止のためには、まずは介護保険制度や認知症等について知ってもらうことが重要です。職場と連携して介護保険制度利用を啓発したり、認知症サポーターを増やしたいと考えています。</p>	
<p>・介護人材が集まりにくいと聞きますが、確保のための計画が必要では。</p>	<p>・介護人材の確保や資質の向上に資する計画を記載しております。</p>	
<p>・介護保険事業計画の作成は、老人クラブの活性化、サロンの推進、スポーツの推進、公共施設等のバリアフリー化など、地域の地元の人が入り考えた方が良く思います。従って、知多北部広域連合で骨子を作り、各市町で肉付けし完成させる方式の方がより充実するのでは。</p>	<p>・策定の委員には、老人クラブ代表、民生委員児童委員代表、公募による市民の代表等がおり、各々の立場からご意見を頂いております。また、各市町とも調整しながら策定しております。なお、ご質問のような事業は福祉以外にも関わるものであり、各市町が行う事業、あるいは各市町が策定する計画の守備範囲にも含まれます。組織横断的な連携の下、介護保険事業計画の位置付けも意識して計画を策定しています。</p>	

	<p>・国平均、県平均、近隣市町と比較した図があればよくわかると思います。</p>	<p>・計画書には記載しておりませんが、策定の段階で、他地域との比較を検討、分析しています。</p>	
--	---	--	--